

# よりそう

Side by Side



第59号

編集責任：延藤

編集担当者 延藤・半田

## キャンドルナイト

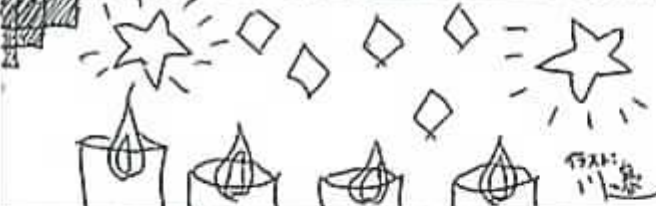
MEMORY OF CANDLE NIGHT

11日の夜、大地震後4ヶ月ということで、センター玄関前でキャンドルナイトが行われました。これまでの経過を富澤さんにお聞きしました。キャンドルナイトは、まず富澤さんと吉沢さんの二人が企画しました。きっかけは「100万人のキャンドルナイト」で、彼は市原の美術館に参加しました。吉沢さんが6月上旬に遠野まごころにいられてから徐々に7/11に開催をするという気持ちを固められていたそうです。

当初 200 個のキャンドルを用意しました。事前にペットボトルをボランティアから集め、それを半分に切ったものに蠟燭を入れます。そして外枠にメッセージをいただきました。希望者が多く前日に 60 本追加することになりました。

プログラムを富澤さん、要綱とタイムテーブルを森さんに協力してもらい吉沢さんが進めました。多くの協力を得て開催の運びとなりました。ひとりひとりからメッセージをいただきそれぞれが読み上げる形を考えましたが、時間が掛かるということでカット。100 人を迎える人数ということから、歌選は難しいということで、詩の朗読となりました。

今後何年かかかるより永続的なボランティア活動を考えて、全て無償のボランティアというのは難しく、有償と無償の混合的な活動となると考えられます。そのとき無償の我々が有償の人たちを排除するのではなく、包みこむ形の活動が必要となります。これからはエゴを見つめることになるでしょう。ボランティアを“してあげる”という思いではなく、“させていただく”という気持ちを大切にしましょう。そういう思いを込めて宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ」という詩を選びました。司会の船田さんの穏やかな朗読に合わせて、参加者が復唱しました。涙ぐむ参加者もいました。(文・坂本)



※月曜・木曜は休刊日になります。

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

雨ニモマケズ 風ニモマケズ  
雪ニモ夏ノ暑サニモマケズ  
丈夫ナ体ヲモチ 慾ハナク  
決シテ嘆ラズ イツモ静カニワラッテキル  
一日ニ玄米四合ト 味噌ト少シノ野菜ヲクベ  
アラユル事ヲ 自分ヲ感情ニ入レズニ  
ヨク見聞キシワカリ ソシテ忘レズ  
野原ノ松ノ林ノノ 小サナ萱ブキノ小屋ニキテ  
東ニ病氣ノ子供アレバ 行ッテ看病シテヤリ  
西ニ疲レク母アレバ 行ッテソノ稲ノ東ヲ負ヒ  
南ニ死ニサウナ人アレバ  
行ッテ恐ガラナクテモイ、ト言ヒ  
北ニ喧嘩ヤ訴訟ガアレバ  
ツマラナイカラ止メロトイヒ  
日照リノ時ハ涙ヲ流シ 寒サノ夏ハオロオロ歩キ  
ミンナニデクノボート呼バレ 褒メラレモセズ  
苦ニモサレズ サウイフモノニ 私ハナリタイ



### NOTICE

今日7/15高校生アンケートがみなさんなるべく**PLEASE**来ます。体育館にいて下さい。

今日7月15日の作業終了後、地元遠野の「緑峰高校」の美人教師率いる商業クラブの皆さんが、まごころネットの取材(アンケートと簡単なインタビューの実施)に訪れます。皆さん日頃お世話になっている遠野の教育に貢献するため、今日は帰ったらなるべく体育館にいて下さい。なお、18時からJAの婦人会による炊き出し、20時からフルート演奏会もありません。

※7/14(木)ボランティアミーティングはPM15:30～@体育館

7/4(木)の宿泊:152人、活動:244人

7/15(金) 天気 曇り時々雨

気温 22~27℃

降水確率 50%